



ブームに便乗したわけではないが、最近韓国に技術開発力の調査に行ってきた。噂どおり、円高・ウォン安の恩恵にあずかることとする日本人が空港にも街にもあふれかえっていたが、確かに宿代も食費も驚くほど安く済んだ。今回の金融経済危機で韓国経済が受けた打撃は深刻で、日本の金融支援を必要とするほどだと聞けが、旅人として観察するかぎり、街は依然として活気に満ちているようにみえた。

ソウルの街には高層ビルが林立し、屋外のお立ちこちに巨大なオーロラビジョンが設置され、鮮明な動画を流し続けている。市内を走るタクシートの多くにカーナビが装備され、日本よりはるかにハイテク化が進んでいる。ソウル駅から高速鉄道で一時間足ら

### 韓国社会の光と影

# 格差や貧困拡大深刻

ずのところにある大田(テジョン)市には、日本の筑波研究学園都市をモデルに建設したという巨大な産業集積があり、韓国を代表する大学や企業の研究所が見渡す限り広がっていた。

山内 直人



大阪大国際公共政策研究科教授

が採用されなかったのには何らかの政治的背景があるのだろうか。

仁川国際空港の巨大さや繁栄ぶりに驚かされる。四千級級滑走路を三本持つこの新しい国際ハブ空港は、松山高松など二十を超える日本の地方都市から中小型機で旅客を集め、大型機で欧米に送り出す。長大なコンコースには、免税店がずらりと並び、日本人観光客で賑わっている。成田や関空は、ハブ空港として完全に仁川の後塵を拝してしまっているようだ。

このように、韓国には日本をも凌ぐ技術力や競争力があるように見える

KTXと呼ばれる韓国自慢の高速鉄道は、フランスTGVの技術導入により国威をかけて建設され、五年前に営業を開始したそうだ。確かに速いが、日本の新幹線より車体が一回り小さく、客席は窮屈だ。日本の新幹線技術

が、一方では、日本と同様、数年前から格差問題(韓国では「両極化問題」といわれる)が顕在化しているという。正社員とパート、派遣など非正規社員との間の格差の問題は、日本と酷似しているし、単に所得や資産の格差が広

## ふるさと伝言

がっているだけでなく、学歴格差を通じた社会階層の固定化が問題視される点も日本とよく似ている。

貧困の拡大も深刻で、人口の割以上が貧困層だとする推計もある。ソウル駅の地下道には、多数のホームレスが寄り添うように生活しており、彼らを追い出したい当局との間で緊張が続いているようだ。

野球やサッカーでみせる韓国人の日本人に対する異常なまでの対抗意識、あるいは竹島など領土問題への執着ぶりをみると、正直ついでにいけないと思うこともある。しかし、ある留学生は、日本人が異常に冷めていてこの種の問題に無頓着なことが、逆に韓国人としてはとても悔しいのだと言う。

今回韓国を旅して、日本と韓国はつくづく似た者同士だという思いを新たにした。お互い「悪しき隣人」と思いつつも、引越しが許されない「永遠の隣人」であってみれば、時には教師として、時には反面教師として、切磋琢磨し合えばよいのだと思う。

(やまうち・なおと、松山市出身)